

12月 定例山行 文殊山(622.7m)～源明山(624.7m) 周防大島

12月4日(日) ☆ 天気: 晴れ

参加者: 27名 CL三重典子 SL田所明子

原田 三重(成) 滝 川村 中島(恵) 若木(小) 朝原 中島(美)

辻本 杉山 藤本 宮木(一) 宮木(澄) 円山 島田 大坂 川野

三村 花房 坂井 西本 村田

会友: 中島(克) 中島(靖) ヘルパー

コースタイム: 登山口(9:35)→文殊山(11:20～11:40)→嘉納山(12:30—昼食—13:10)→  
源明山(13:20～14:30)→源明峠(14:45)→笛吹峠(下山口 15:05)→  
バス乗車(15:15)→県庁(17:30)

## 報告

此の所さすがの晴女も、面目なく負けがこんでいたが、今回は巻き返しといったところか。申し分のない登山日和に恵まれ、最高のハイキング日和。もう何度も登った山だからと下見もせず当日を迎えた。途中一ヶ所民家の庭が突き出て石垣が直角に出ていた所が、奥に引っ込んで石垣も丸くつかれてマイクロもゆうゆう通れる広さ。早々とマイクロを降り、テクテク車道を歩いたことは、皆に申し訳なく、時間短縮につながったのにと、少々下見をしなかった事を後悔した。

文殊堂の銀杏のじゅたんは、子供の頃のように「ワー」と葉っぱのかけあいっこをしたい様であった。文殊堂への登りは階段ばかりで、少々きつかったが、頑張って登った先は別世界。遠くは四国、九州国東半島、

足元は大小の島々。360度の大パノラマに、心は豊かに。おだやかな気分になり大満足のひとときだった。全員写真を撮り、嘉納山へ、道はよく、落葉の道は「カサカサ」と鳴り、「フワフワ」して、紅葉もきれいで、まさに晩秋、歩きやすかった。今日一番の高さ嘉納山で昼食。真ん中に丸く、まるで掘り炬燵のような凹みがあり、ここで弁当を広げ、しっかり景色を楽しんだ。

三つ目の山、源明山では今歩いて来た、文殊山、嘉納山が丁度三角形の様に見えた。

「良く歩いたねー」「やっぱり瀬戸内は素晴らしいー」との声があちこちから聞こえた。なにより天候に恵まれたことが、一番幸せだった。感謝。感謝。また周防大島の他の山にも登りましょう。(記 三重典子)



イチョウのじゅうたん